

平成26年度予算見積調書

課室名: 森づくり課
 担当名: 間伐・森林循環担当
 内線: 4315

(単位: 千円)

| 番号 | 事業名 | | | 会計 | 款 | 項 | 目 | 説明事業 | | |
|--|----------------------|---------|----|--|--------|-----|------|------------|--------------|--------|
| B70 | (公社)埼玉県農林公社森林整備事業助成費 | | | 一般会計 | 農林水産業費 | 林業費 | 県営林費 | 埼玉県農林公社助成費 | | |
| 事業期間 | 昭和59年度～平成75年度 | 根拠法令 | なし | | | | 戦略項目 | 10 | みどりと川の再生 | |
| | | | | | | | 分野施策 | 030202 | 収益を生み出す林業の振興 | |
| 1 事業の概要 県は農林公社を造林・保育事業の中心的担い手として位置づけ森林整備を推進している。農林公社は分収林事業に関する豊富な技術力や知識を有するとともに、県内の森林状況に精通していること、さらには低コスト経営を実現していることから、今後とも農林公社が分収林事業によって森林整備を担い、森林資源の充実と森林の公益的機能の発揮を図る役割を果たしていく必要がある。このため、県は農林公社の森林整備に対する支援を行なうものである。 (1)貸付金 319,324千円 | | | | 5 事業説明 (1)事業内容 ア 貸付金 319,324千円 (ア)事業貸付金 248,324千円 (イ)運用貸付金 71,000千円 (2)事業計画 (社)埼玉県農林公社改革プランにおいて、平成75年度末には約4億円の黒字確保を見込む長期収支予測を立てており、現在その達成に向けて努力している。 (3)事業効果 ア 分収林事業による森林整備の取組は、県民が豊かで安全な水の供給を受けるために不可欠な水源のかん養や土砂災害の防止など県民生活を広く支える森林の公益的機能の発揮に重要な役割を果たす。 イ 県貸付金の無利子化により農林公社の経営改善が図られる。 | | | | | | |
| 2 事業主体及び負担区分 公益社団法人埼玉県農林公社 (県10/10)事業者0 | | | | (4)県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 企業・団体等が社会貢献として森林整備を実施する際の土地所有者等とのコーディネートや計画策定の支援、造林・保育等の技術支援を重点的に実施しており、企業・団体、学校等の森づくりを進めている。 | | | | | | |
| 3 地方財政措置の状況 普通交付税(単位費用) (区分)林野行政費 (細目)森林整備保全費 (細節)森林整備保全費 特別交付税(省令第2条第1項事項54) 林業公社に対する利子補給等に要した経費 | | | | | | | | | | |
| 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.2人=1,900千円 | | | | | | | | | | |
| 予算額 | | 財 源 内 訳 | | | | | | | 一般財源 | 前年との対比 |
| | | 諸収入 | | | | | | | | |
| 決定額 | 319,324 | 71,000 | | | | | | 248,324 | 14,086 | |
| 前年額 | 305,238 | 50,000 | | | | | | 255,238 | | |